

はじめに

NPO 法人設立 5 周年を迎え、特別なイベントは開催しなかったが、ファシリテーターのアイデアで「育自のための小さな魔法」が彩鮮やかになり始めた 1 年と言える。また公的機関とのつながりも少しずつ増え、来期以降の活動拡大への可能性を生んだ。リーフレットのリニューアルやホームページの更新、新しいシステムの導入など、ソフト面の整備にも着手を始めた年であり、1 年間で完結できなかった部分も多いが、今後への助走となった。

1. 全国のワークショップ開催実績

- 全国各地の開催状況…18 都道府県およびオンラインで、延べ 138 回開催され、参加者数は延べ 960 名だった。

- 公的機関との連携…

埼玉県・横浜市の公募型共催事業、埼玉県上尾市子育て支援センター、独立行政法人国立女性教育会館など、公的機関との共催があり、今後の育自の魔法の可能性を広げる実績となった。

開催数	開催回数 (回)	参加者数 (人)
Part1	66	520
Part2	39	255
Part3	29	154
フォローアップ	4	31
合計	138	960

- ファシリテーターのアイデア…各ファ

シリテーターが、それぞれの知識やスキルを活かして楽しみながらワークショップを開催している。オンラインや、1 日で part1~3 までを一気に開催。また薬膳やコーチング・カードなどを合わせることで、育自の魔法のコンセプトをさらに深めるアイデアが生まれている。

- 『フォローアップ』

代表山口ひとみは、part1~3 までの一連開催の直後に、『フォローアップ』という会を設定している。公募型事業等で、part1~3 を開催すると、参加者同士が繋がりあい、ひとつのコミュニティーを形成し始める。『フォローアップ』では、3 回のワークショップの体験とその後の各自の変化を共有し、今後どのようにつながりを作っていくのか気軽にディスカッションされ、参加者に好評を得ている。

2. 既存ファシリテーターへのサポート

- フォローアップ講座の開催

ファシリテーション力の向上と、『育自(自己成長)と社会貢献の関係性モデル』の理解を深め、ファシリテーターとの対話によって育自の魔法の存在意義を明確化することを目的として、対面とオンラインでフォローアップ講座を開催した。

対面講座は 1 日、オンライン講座は 1.5 時間を 3 回として実施した。また、part1 の再受講もフォローアップ講座受講と同じ位置づけとした。

今年度の修了者数は表に示す通り大変少なく、フォローアップ講座の目的をファシリテーターへさらに周知するとともに、受講しやすい講座にするための配慮が必要と考えている。

	開催地	修了者数
対面講座	東京都(2回)、仙台市	12名
オンライン講座	3クール	4名(1名継続中)
Part1再受講者	青森、福井	5名

・ワークショップ開催経験の共有会

月に1回、オンラインにてファシリテーターそれぞれの開催経験を共有する会を設けた。参加ファシリテーターは数名ほどであるが、ワークショップの進め方や宣伝、会場づくりなど、様々な知恵を共有できる場となっている。ファシリテーター認定後のワークショップの開催経験の有無に限らず参加できる会であり、ファシリテーター同士の繋がりやコミュニティー創りにも貢献できる機会にもなっていることから、今後も定例会として継続していく。

3. ファシリテーター養成講座の開催

地方開催地が増えたものの、開催数と受講者数は前年度よりも減少した。『育自のための小さな魔法』が個人の思考や意識にもたらす変化や、社会にとっての意義を伝えるとともに、ファシリテーター講座がさらに「育自」を深める機会であることなど、発信の仕方など工夫していく必要がある。

part	開催回数	開催地	受講者数
Part1	5回	東京・熊本・福井・青森	新規21名、再受講5名
Part2・Part3	2回	東京	7名
合計	7回		33名

4. オンライン読書会

ワークブック『もっと自分を好きになる 育自のための小さな魔法ノート』を用いて、オンライン読書会を開催した。昼の部・夜の部、各16回。参加者は合計11名だった。ワークブックの内容に沿って毎回ワークを体験し、参加者同士で対話をする機会が、半年にも及ぶため、日々の生活と密着しながら育自を継続する体験から意識や行動に変容が生まれるなど、2時間のワークショップとは異なり染み入るような体験が好評だった。

5. 介護のための小さな魔法

「ケアカフェ市川」「東大和市総合福祉センターは〜とふる」にて、ワークショップを開催した。また、代表の山口、他数名で厚労省福祉基盤課福祉人材対策の伊藤専門官と面談。育自の魔法が、高齢社会や介護支援者のサポートとなる可能性についてお伝えし、私たちの活動にエールをいただいた。

現場のニーズと育自の魔法の活動が、一致していない印象もあるが、今後とも少しずつ繋がりを深めていきたい。

6. 5周年イベント

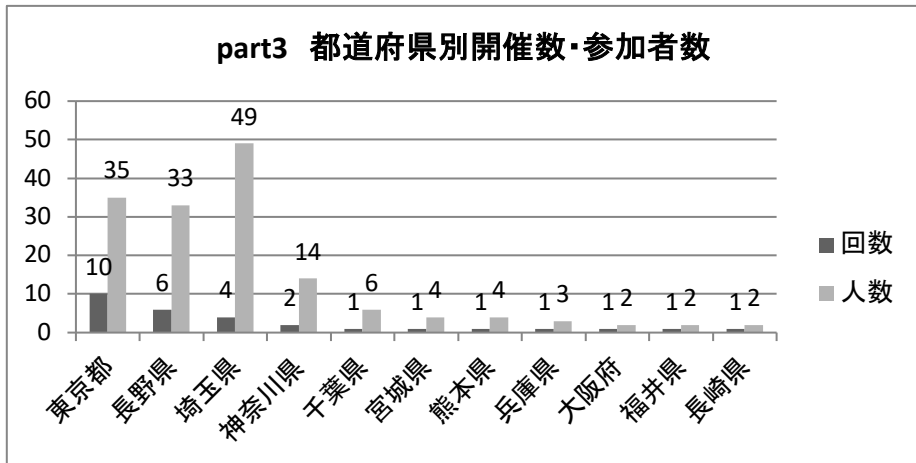
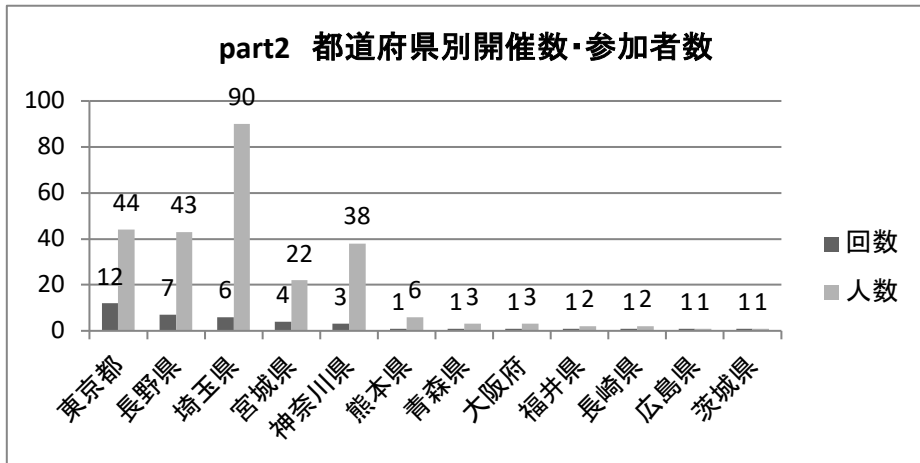
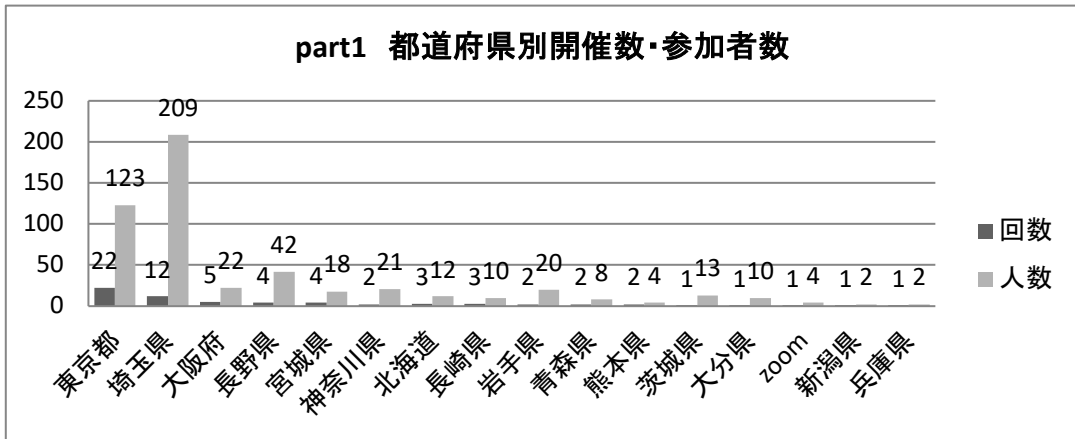
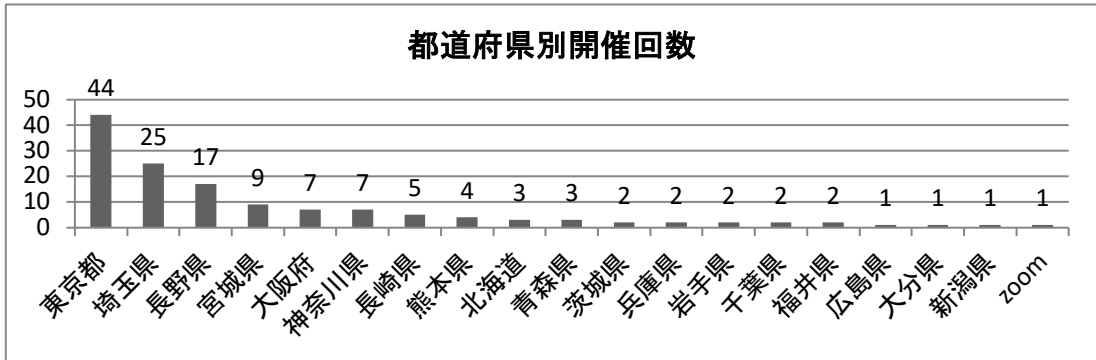
- ・2018年1月4日の宵、オンラインで懇親会を開催し育自の魔法5周年を祝った。
- ・リーフレット作成…5周年を記念して、新しいリーフレットを作成した。広報チームをはじめとする会員の知恵とスキル、育自ノートの編集者のご協力をいただき、斬新で印象深いリーフレットが完成した。

7. 各運営チームへの活動

- ・事務局…名刺発注、議事録作成、ファシリテーター養成講座等の受付フォームの作成。
- ・広報チーム…リーフレット作成、ホームページリニューアルに向けての準備、ホームページの更新など。
- ・システム管理…会員更新や寄付のためのシステム整備と運用。
- ・会計…新しい会計ソフトを導入し、法人会計の管理。

8. その他の活動

- ・会員更新手続と寄付について、クレジットカード決済を導入した。スタート時点では、決済の失敗などトラブルもあったが、その後改善し利用されている。
- ・みんなの会議…毎月1回、会員誰でも参加できる「みんなの会議」をオンラインにて開催している。運営に対するご意見や智慧・情報の共有の場として貴重な時間。ぜひ、お気軽にご参加をお願いしたい。
- ・認定NPO法人申請に向けての診断…特定非営利活動法人シーズによる、認定NPO法人申請のための診断を受けた。2019年度の認定に向けて、準備を開始した。
- ・NPO法人ETIC、WIT、日本NPOセンターが主催するNPO法人向けセミナーに参加し、法人運営の知識習得と他法人との交流を深めた。
- ・法人運営について、エリオスキャピタル株式会社代表取締役社長 杉浦元氏のアドバイスを受けている。
- ・shiwase2.0参加…2018年3月18日に開催された『第2回 shiwase2.0 シンポジウム みんなが幸せな世界を創ろう！』にワークショップ開催として参加。46団体と共に、多くの方々に幸せを味わっていただくワークショップを開催した。
- ・東北サミットの開催…東北縁りのファシリテーターが企画し開催した「東北サミット」が、11月に岩手県で開催された。東北各地、首都圏から集まったファシリテーターが親交を深め、それぞれのビジョンを紙粘土で表現するなど、改めて育自を深める機会となった。



2 事業の実施に関する事項（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	人数	支出額 (千円)
ワークショップ事業	ワークショップ実施	4月～3月	埼玉県、北海道、青森県、岩手県、宮城県、新潟県、茨城県、長野県、東京都、千葉県、神奈川県、大阪府、兵庫県、福井県、広島県、大分県、長崎県、熊本県、オンライン	117人	母親、父親、 独身者、シニア	960名	212
ファシリテーター養成事業	ファシリテーター養成講座の実施	4月、5月、6月、7月、9月、10月、1月、3月	福井県、熊本県、青森県、東京都	10名	母親、父親、 独身者	33名	1507
出張体験学習事業	企業研修講師	—	—	—	—	—	—
上記事項に関する情報提供事業	上記事項に関する情報提供	—	—	—	—	—	—
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	—	—	—	—	—	—